

令和6年度 四日市市立四郷小学校学校づくりビジョン



四郷っ子の未来のため、日本の未来のためにつきた
伊藤小左衛門さん・伊藤傳七さんの生き方に学ぶ

学校教育目標: 自らの夢や志の実現に向け、ひたむきに歩む子どもの育成
— 生きる力・共に生きる力を育む学校 —

めざす学校の姿

- ・子どもの瞳が生き生きと輝く学校
- ・規律と思いやりを大切にしている学校
- ・安全・安心で、地域とともにある学校
- ・教職員が模範となる学校



伊藤小左衛門 (5世)
(学校の設立者)

めざす子どもの姿

- ・よく考え、よく学び、よく働く子
- ・ねばり強く、最後までやりぬく子
- ・認め合い、励まし合い、助け合う子
- ・心と体が丈夫な子



伊藤傳七 (10世)
(郷土産業の先駆者)

めざす教師の姿

- ・子どもに寄り添い、家庭・地域に信頼される教師
- ・確かな人権感覚と豊かな創造力をもつ教師
- ・主体性と協調性をもち、自ら行動する教師
- ・報告・連絡・相談し、組織で迅速に行動する教師

1 確かな学力の定着(研修・学習指導部)

子どもが自ら考え・学び・活躍できる場を育む

- (1) 問題解決的な授業づくり (非認知能力の育成)
- (2) ICT活用による授業の改革 (情報活用能力の育成)
- (3) 言語活動充実 (読解力・表現力の育成)、言語環境の整備
- (4) 朝の学習や朝の読書の充実、表現活動 (国語・英語) の日常化
- (5) 家庭学習の手引きの活用による家庭学習の習慣化

3 よりよい未来社会を創造する力の育成(各指導部)

夢や志の実現に向け、学ぶ意欲・コミュニケーション能力を育む

- (1) 発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進
- (2) 地域教材 (伝統・文化・自然・産業・人材) の活用推進
- (3) SDGsの視点を取り入れた持続可能な社会を目指す教育の推進
- (4) 児童の安全意識の向上 (地域防災訓練への自主参加・交通ボランティアとの交流)
- (5) 集会や行事、縦割り班 (異学年) 活動の実施

5 学校教育力の向上(教務部・PTA・くろがねもち協議会)

学校・家庭・地域が連携・協働し、「地域とともにある学校」づくりを進める

- (1) 学校から保護者・地域等への積極的な情報発信
・ホームページ、通信、学校公開等の効果的な活用
- (2) コミュニティスクール運営協議会 (くろがねもち協議会) の充実
・学校や地域の課題等についての協議
・学校評価を生かした学校運営
- (3) PTA・地域との連携
・交通安全・図書ボランティアやゲストティーチャーの活用
・児童・保護者アンケート結果に基づく学校改善
- (4) 職員の健康維持のための働き方改革の推進
・整理整頓の励行、定時退校日の順守と、見通しを持ち、効率性ある働き方の推進

2 心と体の健全な育成(生活指導部・健康安全指導部・研修・学習指導部)

自他を大切にするとともに、心と体の健康を意識し実践できる子どもを育む

- (1) 安心して生活・学習できるなかまづくりの推進
- (2) 「四郷っ子のやくそく」を軸に据えた規範意識の向上
- (3) 体育指導・体力づくりのための学校活動の充実
- (4) 生活リズムの定着・改善を目指した健康教育・食育の推進
- (5) 読書環境の充実と読書活動の推進

4 特別支援教育の充実(特別支援教育推進委員会)

一人ひとりの子どもの特性や能力に応じた、適切な指導・支援を行う

- (1) 校内支援体制の整備 (サポートルーム)
- (2) 不登校児童・日本語指導が必要な児童への支援の充実
- (3) 「相談支援ファイル」の活用推進
- (4) 教育相談の充実と活用 (特別支援教育 Co・SC・SSW)
- (5) 相互理解のための西日野にじ学園との交流 (全学年: 年1回実施)

6 教職員の資質・能力の向上(研修・学習指導部)

子どもたちの生きる力・共に生きる力を育むため、教師力の向上を図る

- (1) 校内研修の充実
・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
・問題解決能力を育むための授業研究推進
・OJTの活性化による組織力の強化
- (2) 笹川中学校区における「学びの一体化」の推進
・問題解決能力の育成と、園児・児童・生徒の確かな引継ぎ
- (3) 職員の人権意識を高め、一人ひとりが大切にされるなかまづくりの推進
・学期毎の学校・学級の人権課題の見つめ直し
- (4) 各種研究会への参加、大学・企業連携の推進
・さまざまな研究機関との連携及び外部の研修への積極的な参加

重点目標



本校のシンボル: くろがねもちの木